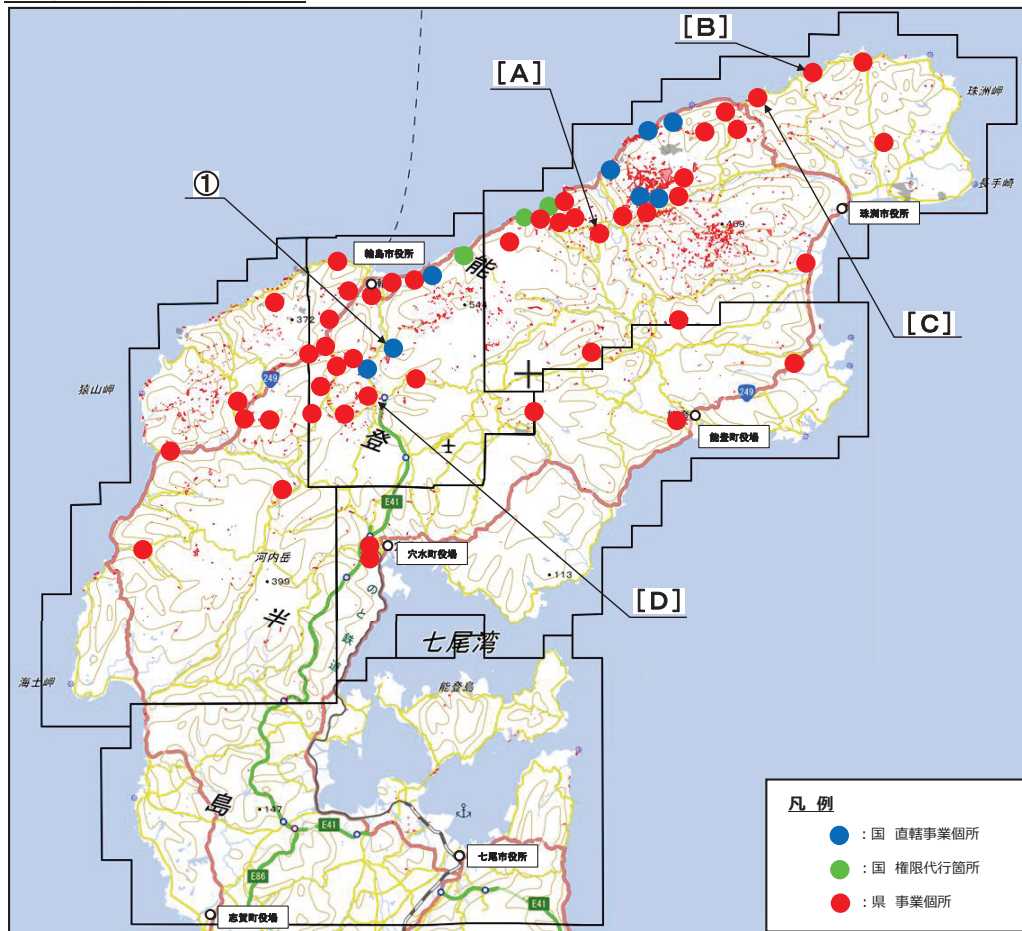


令和6年能登半島地震 土砂災害箇所への復旧・復興のあゆみ

令和6年能登半島地震により、424箇所の土砂災害が発生しました。このうち、被害が大規模で復旧に高度な技術力が必要な11箇所については、国の直轄事業や権限代行により復旧を進めています。

斜面に不安定な土砂が残り、人家への二次被害等が懸念される64箇所については、崩土除去や大型土のう積み、水抜きボーリングなどの応急工事を実施するほか、観測計器による監視体制を市町とも共有し、二次被害防止に努めています。引き続き関係機関と連携し、早期の復旧・復興に向け全力で取り組んでいきます。

主な土砂災害箇所図



復旧・復興のトピックス

① 5月31日（金）河道閉塞が発生した河原田川（紅葉川）（輪島市市ノ瀬町地先）において、土砂ダムの決壊を防ぐために水を下流へ流す仮排水路が完成



出典：地理院地図（1月11日撮影）より、加工：国土交通省



出典：国土交通省 能登復興事務所より、加工：石川県

復旧工事の進捗状況



[A] 上田長地区（輪島市町野町川西地内）



[B] 高屋地区（珠州市高屋町地内）



[C] 珠洲赤神地区（珠州市馬縹町地内）



[D] 長沢3号地区（輪島市三井町興徳寺地内）